

2026年度 14期

「土佐日記」「蜻蛉日記」を読む

日時： 5月25日（月） 10時~11時50分
場所： 高槻センター街ビル
講師： 現代歌人集会理事長 林 和清先生

テーマ： 「土佐日記」2

- 土佐の国(国分) を出発してからの旅の続き 一月八日から二十二日までのゆっくりとした船旅の最中に起きた出来事、行程の遅れによる帰京をはやる紀貫之の気持ちを読む。

■ 行程

・ 前回

承久四年(934年)

12月21日(国府) から1月7日(大湊) まで

・ 第2回目

承久五年(935年)

1月8日 大湊

1月9日 大湊→奈半

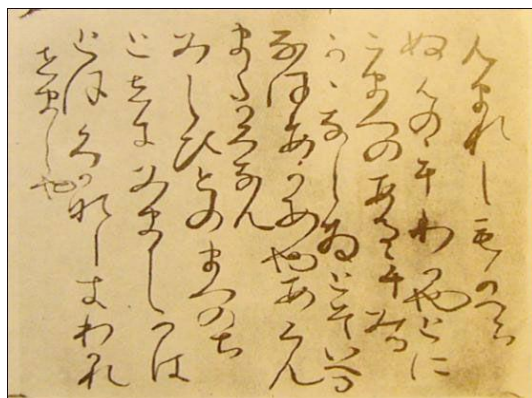
1月11日 奈半→室津

1月21日 室津→



- 京へ帰る途中に室津に立ち寄りますが、強風と荒波により11日から21日まで足止めを余儀なくされました。

自然に左右される当時の船旅の大変さ、船頭とのやり取り、船に乗り合わせた子どもたちを見たりしては亡くなった娘を思い出し悲しみ、娘を偲ぶ貫之の思いが描かれています。



「土佐日記」の書き出し